

1. 研究目的

私は、手書きの現金出納簿を使用していた。手書きの現金出納簿だと手間や時間がかかることや、字の乱れがあり見づらくなること、専用のノート又は自作のノートが必要となりその場合ノートがあふれてしまうことが考えられる。そこで、手書きの現金出納簿、ExcelではなくWebアプリケーションにすることにした。

本研究の目的は、中学生でも使用でき今月いくら使ったのかが瞬時にわかるスケジュール表を用いた現金出納簿を作成することである。本Webアプリケーションを使うことで、使用した金額が瞬時に分かり節約ができることが期待できると考えた。

2. システム概要

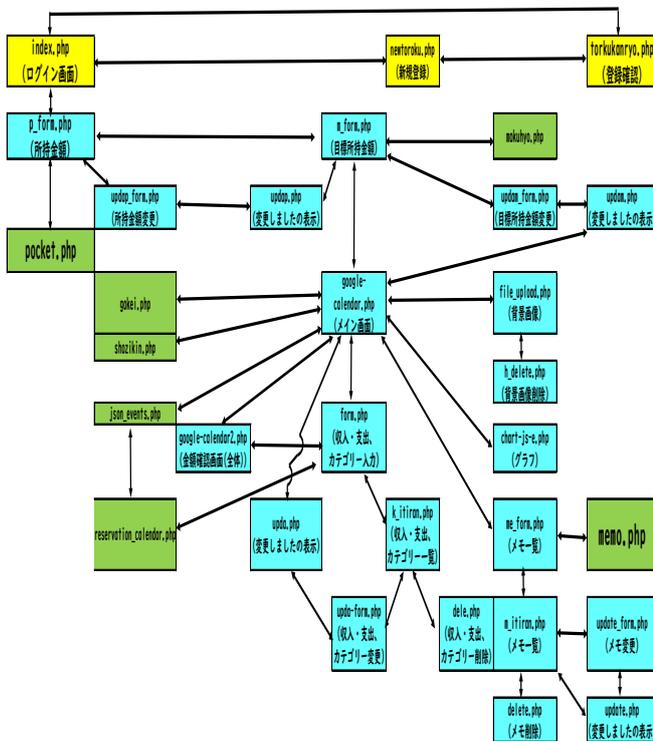


図1 システム構成

本研究で制作した FullCalendar を用いた現金出納簿のシステム構成は図1のようになっている。機能としては「ログイン機能」、「会員登録機能」、「所持金額と目標所持金額の登録機能」、「収入金額、支払金額・カテゴリーの登録機能」、「メモの登録機能」、「登録情報の一覧表示機能」、「登録情報の削除又は変更機能」、「背景画像のアップロード・削除機能」、「月ごとのカテゴリーと収入金額・支払金額の合計をグラフに表す機能」の9個の機能がある。

3. 機能説明

新規登録をした後ログイン画面でログインする。ログインをした後、所持金目標の登録と目標所持金額の登録のフ

ォームへ移動する。登録した後メイン画面へ移動する。収入金額又は支払金額があった際、日付をクリックすると図2のように登録フォームに移動する。登録したら図3のように表示される。月ごとのカテゴリーと収入金額・支払金額の合計をグラフに表したのが図4である。その他の機能としてメモ欄や登録情報の削除又は変更、背景画像挿入がある。



図2 登録フォーム



図3 メイン画面



図4 グラフ

4. 感想

今回の制作は全く分からない状態からスタートしたが、形にすることができた。

PHP や JavaScript、プログラムを制作するために必要な作業などを学ぶことができた。

FullCalendar を使用して感じたのは、本システムのバージョン 5 は新しくプログラムが大きく変わっている部分があったため、参考になるサイトなど探してみたが古いバージョンが多かったため制作するのにとても苦戦した。